

美濃源氏大太鼓保存会

活動のご紹介



目次

01 歴史

02 メンバー構成

03 活動履歴

04 本年度活動内容

05 七夕祭り
子ども太鼓演奏

歴史

- 発足の生い立ち
- 昭和46年、七商店街振興組合において七夕まつりでメイン行事として発足。
- 鎌倉末期、当地に太鼓があったとの言い伝えを商店街で復元し、『美濃源氏大太鼓』と命名。
- 『やまびこ・うたげ・ながれび・七夕ばやし』オリジナル4曲を創設メンバーが作成し活動に入る。
- 大太鼓、中太鼓、長胴太鼓は、一本の欅からくり抜いて作成された親・子・孫の太鼓である。
- その太鼓の元になった欅は現在の日本では入手困難であるものと言われる。

メンバー構成

- 会長

渡邊功雄

- 副会長

有賀辰郎

- 副会長（事務局長）

水野浩二

- 婦人部部長

山内眞里子

- 構成員数

１２名





活動履歴

- 瑞浪市七夕まつり等イベントへの参加、瑞浪市の子供たちに和太鼓を通じて伝統文化の継承・協調性・礼儀作法などを伝えている。

瑞浪市美濃源氏七夕まつり、和太鼓指導、NHK、岐阜未来博、可児市花フェスタ記念公園、岡崎市葵博覧会、桜堂薬師千二百年祭など











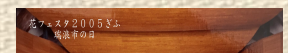


七夕まつり









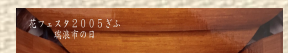
一般太鼓教室











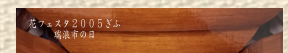



桜堂薬師千二百年祭


七夕まつり

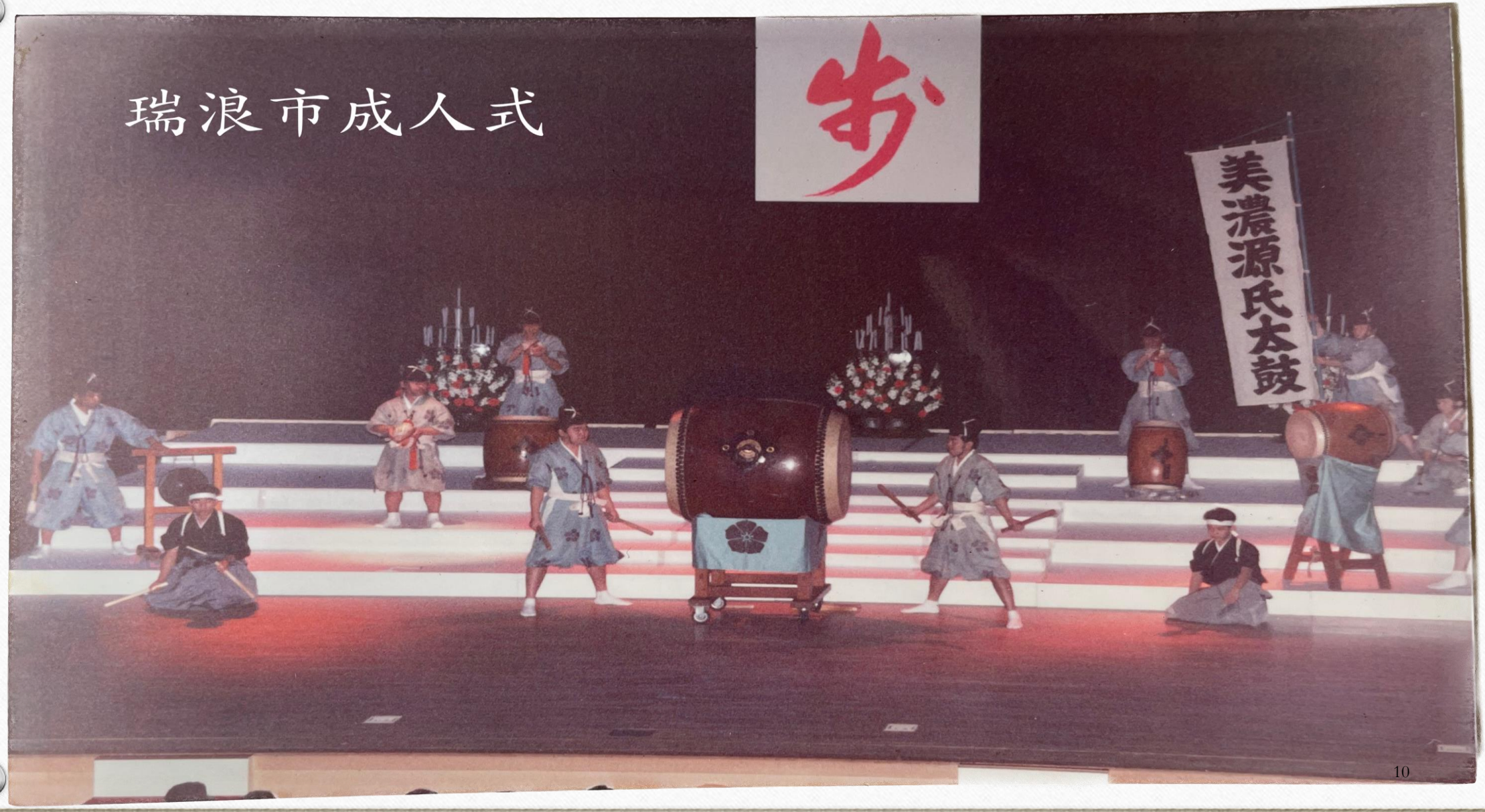



瑞浪市成人式


花フェスタ2005


小里川ダム湛水式

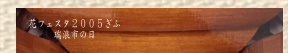
瑞浪市成人式













花フェスタ２００５ぎふ
瑞浪市の日













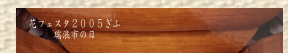

小里川ダム湛水式
ム湛水


七夕まつり




桜堂薬師十二百年祭


瑞浪市成人式


花フェスタ2005さよ
瑞浪市の日

七夕祭り　子ども太鼓　練習風景











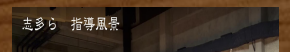




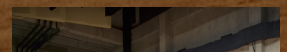


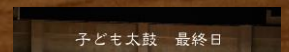
子ども太鼓　2023年　参加20名







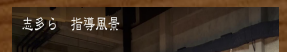




練習風景

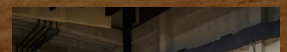




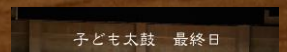












志多ら　指導風景

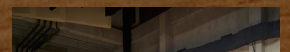




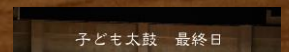








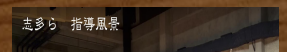




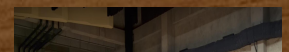



子ども太鼓　2023年　参加20名

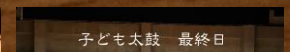

練習風景


志多ら　指導風景





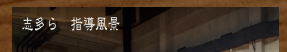



子ども太鼓　最終日

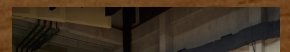



子ども太鼓　2023年　参加20名

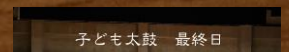

練習風景


志多ら　指導風景





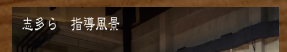



子ども太鼓　最終日


大川太


子ども太鼓　2023年　参加20名

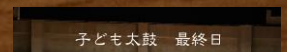

練習風景


志多ら　指導風景





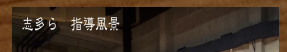



子ども太鼓　最終日



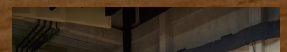

子ども太鼓　2023年　参加20名

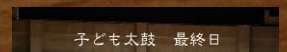

練習風景


志多ら　指導風景





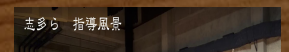



子ども太鼓　最終日


子ども太鼓　最終日

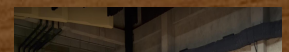

子ども太鼓　2023年　参加20名


練習風景


志多ら　指導風景









中日新聞　8月6日　記事

美濃源氏大太鼓 練習成果見て

瑞浪の児童がきょう保存会指導で演奏会

瑞浪市内の有志の児童二十人が五日午後七時から、同市寺河戸町の市地域交流センターときわで演奏会を開く。同市で活動する美濃源氏大太鼓保存会と共に練習を積んできた成果を披露する。

太鼓について知ってもらい、より多くの人に興味を持ってもらおうと、今回保存会が初めて子どもたちを募って発表会を企画した。子どもたちは太鼓経験はないが、同市土岐町の市総合文化センターで五月下旬から十回にわたり練習を積んできた。愛知県東栄町のプロ和太鼓集団「志多ら」からも指導を仰ぐなどした。一日にあった本番前最後の練習では、手の動きも音もほとんどそろうまでに成長した。

明世小五年の水野美桜(みお)さん(一二)は「全員でそろえるところが難しい。本番は大きな音を出したい」と意気込む。十年ほど前は十八人いた保存会のメンバーは、今は十人ほどまで減った。渡辺功雄会長(七四)は「今回の体験を通じて太鼓に興味を持ち、後継者が出てくれたら」と期待を込めた。(吉田英悟)



本番に向けて太鼓を練習する子どもたち＝瑞浪市土岐町の市総合文化センターで

